

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo



よこすか



社協だより
Since 1951
YOKOSUKA

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

～あたたかい気持ちと勇気のしるし～ ハートに赤い羽根

イギリスのロビンフッドや、アメリカの先住民族もつけていたといわれる赤い羽根は、むかしから世界中で、勇気や良い行いのしるしとしてつかわれてきました。あたたかい気持ちをあらわした勇気のしるし・赤い羽根が、今年も横須賀のまちを行き交う人々の胸もとを彩ります。

10/1～12/31

今年もよろしく
お願いします。

共同募金は、厚生労働大臣の告示に基づき、毎年10月1日から12月31日までの期間、全国一斉に行われる「赤い羽根」でおなじみの募金運動です。

共同募金というと、社会福祉施設や地域作業所等をとおして、お年寄りや、障害をもたれる方々、子どもたち等を応援する募金というイメージが強いと思いますが、それだけではありません。

共同募金は、みなさまの身近な地域で活用される募金です。地区社会福祉協議会等による、お年寄りのための「ふれあいいきいきサロン」、小さな子どもとお母さんのための「子育てサロン」などでも、共同募金が役立っています。



産後から子どもを守る	被災者支援活動	登下校時に10分～15分
介護する人を守る	災害の多い町へ	盲導犬を育てる
	意志あるお金。	
高齢者を支える	病室に笑顔が広がる	
被災者支援活動	子育て支援活動	子どもと保護者の関わりを深める
福祉施設を運営	障がい児の支援	手話を学ぶ
高齢者のケア	高齢者の生活支援	高齢者の生活支援

じぶん町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金 10月1日～12月31日 www.akaihane.or.jp

平成19年度共同募金感謝状贈呈団体(大口寄付団体) 平成19年度共同募金運動における大口寄付団体に感謝状が贈られました。
〈県知事感謝状・県共募会長感謝状〉 株式会社三翔パーラグループ
〈県共募会長感謝状〉 陸上自衛隊武山駐屯地 曹洞宗神奈川県第2宗務所第6教区

市社協も応援しています!

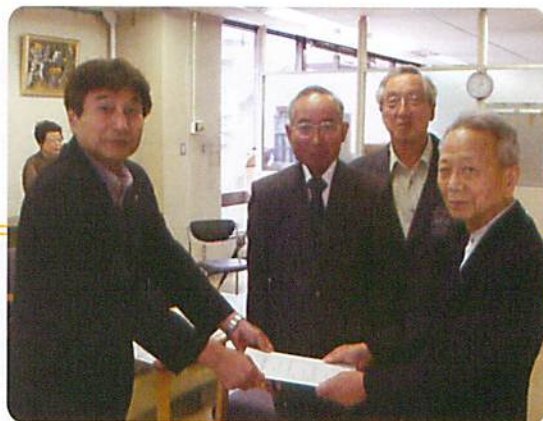
「よこすか福祉の輪市民会議」

平成20年度地域福祉特区事業決定!

横須賀市は、地域で助けあう福祉活動のうち、他の地域にも広がりが見込めるモデル事業を「地域福祉特区事業」として認定しています。第4回を迎える今年度は、3件の応募があり、選考の結果「助け合い栗田」が認定されました。

「助け合い栗田」

町内会を始め、栗田地区で活動するさまざまな団体が連携して発足しました。高齢者や障害者、子育て家庭など、困っている方に生活支援を行います。



地域福祉特区事業認定式(6月23日)

サービスの内容

宅内での家事援助

食事の支度・後片付け、部屋、風呂、トイレなどの掃除・片付け等

宅外での介助

外出介助(付き添い、通院、散歩)、日用品の買い物等

子育て支援

産後の家事援助、育児支援(沐浴など)、子守、子どもの一時預かり等

その他の作業

粗大ゴミの搬出、家具の移動、ガラス窓の掃除、庭の掃除、雑草取り、日曜大工、パソコンの操作指導、ペットの世話、犬の散歩等

● サービス時間は、月曜～金曜の9時～17時(受付は8時30分～17時) ● 利用料金 500円/時間

第33回横須賀三浦地区障害児者文化事業 ふれあい作品展

日時：11月8日(土)～11日(火) 10時～20時(11日は19時まで)

場所・内容：① ショッピングプラザ横須賀 2階 センターモール(京急汐入駅下車徒歩3分、JR横須賀駅下車徒歩5分)

作業所、施設などで制作した作品等の販売

② 市立総合福祉会館 6階(京急汐入駅下車徒歩6分、JR横須賀駅下車徒歩8分)

学校の生徒による作品等の展示

問合せ：ふれあい作品展実行委員会事務局(海風学園 サポートセンターかいふう内 担当：熊谷・山崎)

TEL：835-1362 FAX：833-1559

第3期よこすか福祉の輪市民会議発足!



地域福祉を推進するためにさまざまな活動を行う「第3期よこすか福祉の輪市民会議」が発足し、7月1日市役所正庁で第1回全体会を行いました。

全体会では、県立保健福祉大学実践教育センターの菊池健志先生が「地域でつくる支え合いのネットワーク」をテーマに、地域とはどのようなものか、支え合いのコツなど、活動の参考となる基調講演が行われました。

約100名の市民会議委員が、今後2年間の任期のなかで、地域福祉を進める活動を行いますので、皆さまのご支援をお願い致します。

今年もやります「福祉の輪のつどい」

地域福祉の輪を広げるために開催している「福祉の輪のつどい」を、今年も県立保健福祉大学の大学祭「うみかぜ祭」の中で、同大学生サークル「県立大学にボランティアセンターを作ろうの会」と協働して行います。昨年は、パネル展示や高齢者・障害者疑似体験、臨時ボランティアセンターを設置しましたが、今年は更にパワーアップした企画をご用意いたしますので、ぜひご来場ください。

日 時：11月1日(土)、2日(日)の2日間
10:00～16:00

場 所：県立保健福祉大学
教育研究棟内



武山地区社会福祉協議会 福祉バザール

日 時：10月12日(日)11時～13時30分

場 所：JAよこすか葉山 武山出荷場(京急バス「武山住宅」または「一騎塚」下車)

内 容：武山地区の福祉・教育団体等によるバザール(物品販売、模擬店、イベント)

問合せ：武山地区社会福祉協議会・武山地区ボランティアセンター

TEL・FAX：856-2943

第20回横須賀三浦地区ふれあい広場

日 時：11月8日(土)10時～14時

場 所：市立総合福祉会館5～7階(京急汐入駅下車徒歩6分、JR横須賀駅下車徒歩8分)

内 容：社会福祉施設等の模擬店やパソコン写真、ゲームコーナー等の各種アトラクション、ステージイベントなど障害のある方と来場される方との交流を目的としたイベント

問合せ：ふれあい広場実行委員会事務局(県立三浦しらとり園内 担当：高橋昭彦)

TEL：848-5255(代表) FAX：848-5258

活動計画における 7つの取り組み目標②

平成20年3月に横須賀市社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画」(第3次)では、地域にある課題を整理して、その解決に向けて「7つの取り組み目標」を掲げています。



- A. 一人ひとりが地域や福祉への理解を深めよう
- B. 子どものころから地域や福祉にふれられる環境をつくっていこう
- C. 身近な地域における福祉活動を進めていこう
- D. さまざまなボランティア活動・市民活動を進めていこう
- E. 誰もが安心して生活できる仕組みをつくっていこう
- F. 多種・多様な機関・団体・個人の協働を進めていこう
- G. 理解・対応が不足している問題にも目を向けていこう

目標C 身近な地域における 福祉活動を進めていこう

★わたしたちができること

- 学校、商店、企業なども地域の一員としての意識をもち、自ら地域に役立つ活動を行っていこう
- お年寄りや障害のある人たち自身も地域の一員として地域活動に参加していこう
- 地域の団体がお互いの活動に関心をもち、協力できることがあれば積極的に協力しよう
- 多くの人たちが地域の団体の活動に参加できるよう、積極的に団体のPRや活動への参加を地域に促していこう
- 地域みんなが関心をもてるような行事や活動を企画し、多くの地域住民が参加できるように積極的に働きかけよう

★福祉施設・関係機関ができること

- 福祉施設・関係機関も地域の一員としての意識をもち、自ら地域に役立つ活動を行っていこう
- 施設を地域に開放し、施設と地域が共に学び合える場を多く設けよう

★市社協の取り組み方向

- 各地区社協における地域福祉活動計画の策定
- 地区社協の組織運営体制と活動のあり方の検討

目標D さまざまなボランティア活動・ 市民活動を進めていこう

★わたしたちができること

- ボランティア活動、市民活動に積極的に参加しよう
- 商店、企業なども積極的に社会貢献活動を行っていこう
- ボランティア、市民活動団体がお互いの活動に関心をもち、協力できることがあれば積極的に協力しよう
- 多くの人たちがボランティア、市民活動に参加できるよう、積極的に団体のPRや活動への参加を促していこう
- 子どもやお年寄り、障害のある人たちも一緒に活動していこう

★福祉施設・関係機関ができること

- 福祉施設等は、施設にボランティアが関ることの意味や役割についてきちんと理解しよう
- 新しいボランティア活動希望者には事前学習や体験の機会をつくってスムーズに活動につながるようにしよう
- 施設とボランティアが積極的に情報交換し、ともにいい関係を築いていこう
- 福祉施設・機関の専門性を活かして、お年寄りや障害のある人、介護者、子育て中の親たち自身の活動を応援しよう

★市社協の取り組み方向

- 学生ボランティアの継続的な活動の支援
- 団塊の世代がボランティア活動・市民活動に参加するためのきっかけづくり
- ボランティアが主体的に企画する行事や活動の支援・推進
- 介護者や障害のある人たちのグループや団体の支援

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本 店ローンセンター 0120-413-357

■久里浜ローンセンター 0120-472-195

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

■茅ヶ崎ローンセンター 0120-472-194

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>

総合福祉会館が災害時のボランティア支援の拠点となりました

地震などにより横須賀市が大きな被害を受けたときには、全国から多数のボランティアが集まることが想定されます。市社協では、災害時に集まるボランティアがよりスムーズに、効果的に活動できるように、横須賀市と「災害時における災害時ボランティアセンターの設置等に関する協定」を8月6日に結びました。

災害時ボランティアセンターとは、地震などの災害時に、ボランティア活動を行っていただける方と、ボランティアを必要とする市民との間に立って、両者の思いを実現するため、調整を行う機関です。

協定では、横須賀市災害対策本部の要請により、市社協が中心となって災害時ボランティアセンターを総合福祉会館に設置します。

ボランティアの力を最大限に生かすことで、復興を進めるための原動力となります。

災害時には大きな混乱と、さまざまな問題が起こります。横須賀で万一の災害発生に備えて、市・市社協・市民とが一体になり、ボランティアの体制を整備し、今後も、この協定にもとづき、訓練などを実施していく予定です。



詳細は、よこすかボランティアセンターまでおたずねください。 協定調印後の蒲谷市長(左)と藤原市社協会長(右)

★団体(13団体)
ハンド・ニットの会、(株)陽報、龍義丸、中華飯店、ボランティアアグリフなつめ、寧寧、やよい会、サニーステージ野比海岸、トステム鈴木シャッター(株)、(株)イノウエ、(株)エイヴイ、(株)美装、(有)石塚商店

平成20年6月1日～8月31日
〈順不同・敬称略〉

「賛助会員募集中」
★お名前とご住所を、表紙にある連絡先へ、電話、はがき、FAX、Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。
団体会員 一口5000円
個人会員 一口1000円
会費は年会費となっており口数は何口でも結構です。



賛助会員の紹介

★個人(90名)
秋本保、秋本恭美、秋本正次、秋本トヨ子、石井玲子、井上豊美、阿部玲子、平田初枝、田中靖子、金井利有子、須藤久男、吉原玲子、上田滋、上田順子、井上豊子、中村みち、古屋勝昭、外岡幸吉、徳永淑子、齋藤稔、明石稔、和田完一、片山綾子、佐久間隆良、喜友名効、喜友名光子、篠原久恒、山崎晴海、長養成江、田嶋敏彦、大久保貞子、北川しん、吉村久子、土肥愉矩子、長田純子、安倍三代、高橋やエ子、一柳八重、後藤理、飯野雄彦、高橋和代、山本明、久保田朋恵、田中峯子、永山良文、中鉢ナツ、三浦和子、石渡多津子、渡邊佳子、小林勇、小泉浩康、小泉真理子、三富錦子、栗原正而、栗原成子、小野久美江、小峯洋子、朽木敏子、赤坂誠司、金子二三子、佐々木ミチ子、荒吉見、井上祐一、浦野忠昭、鈴木燕二、鈴木輝子、長瀬キリ、最上照子、手塚武夫、大原佳夫、大原真弓、石渡嘉津子、渡辺繁子、窪田幸次、石田妙子、小川リヨ子、石塚美代子、西村忠、西村久子、本田孝二、田中利子、福島梅子、幡野克二、齋藤武雄、齋藤恵美子、齋藤皓一、齋藤恵子、片桐久吉、村越志津子、坂上定子

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。

・チラシ広告 ・ポスター ・パンフレット ・冊子 ・記念誌
・名刺 ・伝票 ・カレンダー ・封筒 ・のぼり旗・幕 ・シール
・POP各種 ・販促物取付器具 ・写真撮影 ・ラミネートフィルム
・名入れグッズ各種 ・その他印刷物全般



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 アド・ワークス

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
e-mail: eigyou@e-adworks.com

団塊の世代のみなさん注目! <シリーズ⑧> 地域デビューした先輩ヘインタビュー!

気軽に立ち寄ってください“うらら”

精神障害のある方が地域で自立した生活を送ることができるよう、相談支援活動や憩いの場の提供などを行う「ふれあい うらら」は、平成17年4月に設立されて今年で4年目を迎えます。

代表の八嶋美代子さんがこの活動をするきっかけとなったのは、平成10年に市社協が開催した精神障害者ボランティア講座に2期生として参加したことです。その後6年間保健所で精神障害に関するボランティアを行っていました。その間に、街の公園やデパートのベンチに座りながら、一人で飲み物を飲んでいる精神障害の方の姿などを見かけることがあり、「こういう人達の居場所を作らなければ」との思いから「ふれあい うらら」を設立しました。八嶋さん夫妻と当事者の家族の有志で喫茶室を開店しましたが、「最初の2年間は、赤字続きで家賃を支払うのに手一杯でした。でも昨年から働いている方に気持ち程度の給与が出せるほどになりました。」と八嶋さんは話します。実際に働いているのは、当事者とその家族の方で、年齢層も幅広く、家族の方は50～80歳にまでなるそうです。また、この喫茶室は、地域に住んでいる方や一般の方も利用できますが、その数は年々増加しており、昨年度は年間



左から八嶋政臣さん、八嶋美代子さん、山下治子さん

延べ1万人を超えるほどになりました。

そのほか「ふれあい うらら」では、相談業務や就労支援も行っており、実際に市内の飲食店や公園等で清掃のお仕事ができるようになった人もいます。就労時間は人により差がありますが、多い人では週5日、6時間も勤務しています。そこに至るまでには八嶋さん夫妻がジョブコーチとなって自立を支援し続け、途中でリタイヤすることなく、今も続けているそうです。

「ふれあい うらら」でウェイトレスをしている山下さんは、元々常連客でしたが、八嶋さんに声をかけられてやってみようと思ったそうです。「働いてみると楽しくできて、常連のお客さんに来てもらい、感謝されるとうれしい。」といい、常連客の方も「『ふれあい うらら』には毎日来ています。ここに来ると、落ち着きます。」と話しています。

「今後は、相談業務や就労業務に力を入れ、一人でも多くの方が自立した生活を送れ、社会で活躍してほしいと思っています。できる限り、力を注いでいきたいです。」と八嶋さん夫妻は笑顔で話してくれました。

*「ふれあい うらら」安浦町3-25
(京急県立大学駅下車徒歩5分。16号線沿いにあります)



「ふれあい うらら」で販売しているケーキ1個380円



<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談

相談は無料

お客様相談室

ご相談内容: 相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

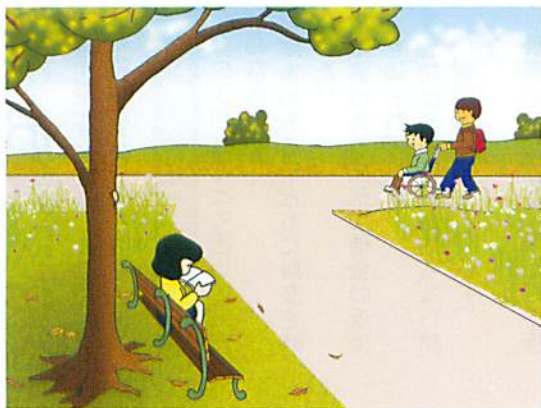
横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル ☎ 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。

TRiBank Miura Fujisawa 三浦藤沢信用金庫



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1

汐入駅から徒歩6分「ショッピングプラザ横須賀」の右となり、市立総合福祉会館の4階です。

電 話 (821) 1303 (825) 0017/FAX(824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

ボランティア大募集

①募集団体・アクション

内 容: 外出介助

日 時: 10月12日(日) 9時50分～17時頃

場 所: 三鷹の森ジブリ美術館

☆知的な障害のある方のグループです。

②募集団体・ふれあい運動会実行委員会

内 容: 運動会のお手伝い

日 時: 10月12日(日) 8時30分～16時30分

雨天時は翌週に順延

場 所: 市立諏訪小学校

☆ふれあい運動会は毎年行っている知的な障害のある方々の交流のための運動会です。会場設営、競技のお手伝いなど。

③募集団体・横須賀市保健所

内 容: 骨髄バンク登録会(ティッシュ配り)のお手伝い

日 時: 10月19日(日) 11時～12時、13時～16時

場 所: 京急横須賀中央駅周辺

☆骨髄バンクの啓発および登録会のお手伝いです。午前、午後どちらかの活動でも可。

④募集団体・メロディー

内 容: 外出介助

日 時: 10月26日(日) 9時45分～16時

場 所: ソレイユの丘

☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

⑤募集団体・ふれあい広場実行委員会

内 容: イベントのお手伝い

日 時: 11月8日(土) 9時～16時

場 所: 市立総合福祉会館

☆ふれあい広場は毎年行っている横須賀・三浦地区の知的な障害のある方々の交流のためのイベントです。会場案内、設営、補助など。



場づくりサロンやってます!!

よこすかボランティアセンターでは寄付物品の古切手を利用して、さまざまな作品を製作しています。

活動日時: 毎月第2・4木曜日 13時30分～15時

活動場所: よこすかボランティアセンター 第1活動室

※参加自由。作品は障害者週間キャンペーンの啓発物品として配布します。

12月3日～12月9日は障害者週間です

国際障害者デーの12月3日から日本における「障害者の日」である12月9日までが「障害者週間」になります。「障害者週間」には、障害のある人たちのことを、より多くの人たちに理解してもらうために、国をはじめ全国の自治体、関係団体などにより関連行事が執り行われます。横須賀でも、市内の関係団体が集まり、ともしび運動の一つとして、「障害者週間キャンペーン」を展開します。

日 時: 12月3日(水)・12月4日(木) いずれも14時～15時

場 所: 京急横須賀中央駅・汐入駅・追浜駅・京急久里浜駅・JR衣笠駅(予定)

内 容: 障害のある人やボランティアが作った小物や啓発用パンフレットを街頭で配布

主 催: 障害者週間キャンペーン実行委員会
横須賀市障害者団体連絡協議会
横須賀・三浦作業所連絡会
横須賀市ボランティア連絡協議会
横須賀市
横須賀市社会福祉協議会

※日時、場所は変更する場合があります。

※配布用作品と街頭キャンペーンに参加してくれるボランティアを募集しています。詳しくは、よこすかボランティアセンターまでお問い合わせください。

秋の入会キャンペーン

10/28(火)まで

※キャンペーン特典は、3ヶ月以内の再入会者の方は適用できません。

特典1 入会金5,250円 **100% OFF**
0円

特典3 初月度授業料 **50% OFF**

特典2 幼児・ジュニアクラス **指定用品一式 プレゼント!**

ベビークラス **ヘルパー+スイミングキャップ プレゼント!**

大人クラス **ゴーグル+スイミングキャップ プレゼント!**

イトマンの楽しい授業を一度体験してみませんか?

全クラス 試してナットク! 一日無料体験

電話予約制 お気軽にどうぞ

横須賀イトマンスイミングスクール

横須賀市日の出町3-11
<http://www.e-itoman.co.jp/>

☎046-823-6170



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。
相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時15分～13時はお昼休みとさせていただきます。

権利擁護相談(弁護士相談)

このようなことで困っていませんか？

● 障害のある子どもに財産を残したい

● 障害のある兄弟が借金の返済を迫られている

● 認知症のある親が知らない間に、高価な買物をしていた

高齢の方、障害のある方の権利を守るための相談に弁護士がお答えします。

【予約制】事前に職員が相談内容をお伺いします。

● 毎月第3水曜日

13時～16時

一人45分です。

予約はTEL(821)3605

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。

【相談にあたって】

① 使用目的別に資金貸付があります。

(一般生活費は貸付できません)

② 地区担当民生委員による相談援助活動が行われます。

③ 借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。

(市内在住の方)

【予約制】地区担当民生委員とともに相談内容をお伺いいたしますので、来所前に必ずご連絡ください。

● 毎週月・水・金曜日

9時～17時

予約はTEL(821)1301

地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

● 毎週月曜日～金曜日

10時～16時

福祉機器展示場

電話相談

TEL(824)9436

住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の建築士をはじめ、介護福祉士が相談に応じます。

【予約制】

● 毎月第4水曜日

10時～15時

予約はTEL(821)1301

ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成20年6月1日～8月31日

(敬称略)

秋本トヨ子、故中沢宣明、三浦藤沢信用金庫、新郡山流神奈川県支部長、横須賀市消費生活研究会、横須賀カントリーミュージック&ダンス協会、三吉幸子、大森耕司、横須賀陶芸友の会「はまゆう」、酒落井会、船橋珠枝、(株)根岸工務店、バーラー風羅巴、南川藤夫、小関敏子、西脇鶴子、三浦半島アーティスト芸能連盟、鶴が丘町内会、鶴が丘社会福祉推進委員・富田菜

美、和田完一、赤坂誠司
横川和司、宇野智恵、渡辺訓宏、横須賀共済病院 臨床検査科、山崎峰崇、横須賀美術協会、坂本春子、ヒラタ、佐藤令子、シルバー人材センター、清水、神奈川県軍恩連盟横須賀支部、手話サークル逸見、電力中央研究所、大津地区ボランティアセンター、衣笠地区ボランティアセンター、小野慎子、有川義明、中里末子、錦古里純子、ガールスカウト二十六回、片山俊行 匿名5件

寄付金 二十六件

物品 三十五件

あとがき

オリンピックに甲子園、熱気に溢れたのは地球温暖化によるところではない。中でも野球のメッカ、米國を制しての五輪ソフトは素晴らしい。

金メダルを掲げた元横須賀に凱旋、横須賀中央駅で迎えた西山選手に大勢がシビレ、歓声に拍手。そして「最後まであきらめなければ、必ず夢は叶う。」と熱いメッセージを送られた。生まれつきの心臓病との闘いでもあったとのこと、喜びもひとしおである。

同じく夏の戦い「チーム横須賀」の連続全国制覇も拍手を送りたい。横須賀には小学生のソフトボールチームが40ほどある。各チームから選抜され構成したのが「チーム横須賀」チームの監督、コーチはサラリーマ

ンや自営業の野球好きではあるが、青少年育成の素晴らしいボランティアでもある。土曜と日曜日は練習と試合。ボランティアというスタイルを意識するものではなく、手弁当での使命感に似た活動である。

泥にまみれた子ども達を車に乗せると他に使い道がなくなるほど汚れてしまうが、ヒット一本好プレーで互和算。はじける子ども達を心を抑えて整列。帽子を取ってグラウンドの神様に一礼。監督、コーチの言葉に背筋を伸ばし目が輝く。中には我れ関せずの子もいるが。そんな子どもが高校や大学、社会人へ。「チフッス」と挨拶をしてくる。

今日も層の厚い白球が横須賀の秋風に乘って弧を描いていく。

(木)

— すぐそばで応援してください — 第9回全国車椅子マラソン 日産カップ 追浜チャンピオンシップ2008

全国規模で行われるこの大会には、世界トップクラスの選手が参加予定です。全国的にも商店街を走る競技は珍しく、選手は多くの応援の中で競技できることを楽しみに参加しています。

昨年リニューアルされた日産自動車柳追浜工場のテストコース「GRANDRIVE(グランドライブ)」でも応援できます。

● 競技記録会

日時：12月6日(土) 11時～15時30分

場所：日産自動車追浜工場内「GRANDRIVE」

内容：2.5Km・5Km・10Kmのタイムレース

● ロードレース

日時：12月7日(日) 10時～12時30分

10:00～ パレード

10:30～ 競技スタート

場所：京急追浜駅前～追浜駅前商店街～日産自動車追浜工場周辺

内容：ハーフマラソンレース(3周=21.0975Km) チャレンジレース(1周=7.0325Km)

*詳しくは、下記事務局へお問い合わせください。

【日産カップ大会実行委員会】

日産自動車柳追浜工場、追浜観光協会、追浜自治会連絡協議会、追浜地区社会福祉協議会、(協)追浜商盛會、追浜銀座通商店会

【お問い合わせ】

日産カップ大会実行委員会事務局 担当：塩田

日産自動車柳追浜工場総務課内

TEL 867-5000